
岐阜県立加茂農林高等学校

学校長 村井 真
学校住所 美濃加茂市本郷町3-3-13 電話 0574-26-1238

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜県立加茂農林高等学校運営協議会（第2回）
- 2 開催日時 令和 2年 10月 （書面開催）
- 3 参加者 委員 桂川 直人 岐阜県農業大学校長（会長）
生駒 一成 岐阜県指導農業士（副会長）
酒向 光世 医療法人管理職
長谷川洋昭 ボランティア団体支部局長
渡辺 祥二 農業生産法人代表
井戸 肇 同窓会
中島 清貴 PTA会長

学校側	村井 真	校長
	瀧瀬 斗一	教頭
	岩井のり子	事務部長
	斉藤 寧子	教諭（教務主任）
	村井 陽一	教諭（生徒指導主事）
	澤野 美彦	教諭（進路指導主事）
	八束 功子	教諭（農場長）

- 4 会議の概要 （1）令和2年度 加茂農林高等学校学校運営前期反省と後期の取組について
資料 各分掌課題と重点前期自己評価と後期の取組
学校評価アンケート（生徒、保護者）

提案事項に対する意見のとりまとめ

- （1）令和2年度 加茂農林高等学校運営前期反省と後期の取り組みについて

○学校運営の取り組みについて

【意見】

- ・コロナ対策が最優先課題となり、今年度はとても難しい対応をしなければならなかったと思う。そのような中でも、うまく学校運営されていると思う。
- ・学校評価アンケートからも、重点目標が高い評価を得ていると確認できた。
- ・休業中のオンライン授業や再開後の感染対策など、学校としては十分対応している。生徒の評価はどうだったのか。

【回答】生徒の評価について

- ・オンライン授業については、スマホで視聴している生徒が多かった。当初は、接続不良のため視聴できない生徒もいたようだが、その後改善された。支援が何もない状況で生活するよりも、オンライン

授業があることで、学校再開に向けて生活リズムが取り戻せたようだ。オンライン授業については、家庭の環境整備についての不安がアンケートでも見られた。

○教務部の取り組みについて

【意見】

- ・オンライン授業の実施について評価ができる。
- ・オンライン授業での工夫、受講率、効果などを聞かせてほしい。
- ・オンラインでの実習や生き物を扱う授業の場合、どのように対処していたのか。
- ・在籍期間（登校日数）の短い1年生に対しては、特に授業規律の遵守を指導する必要があると思う。
- ・ある種の多様化をはき違えた考えにより、授業中の迷惑行為が助長されていくのではないかと心配している。今一度、ルールの徹底が必要だと思う。

【回答】 オンライン授業での工夫、受講率や効果について

(工夫点) ・パワーポイントを使用し、視覚に訴える教材を多くの教員が提示した。

- ・書画カメラ（実物投影機）でホワイトボードに投影し、通常のスタイルで授業を配信することにもつとめた。
- ・挙手機能やマイク機能で生徒からの質問を受けたり、授業に参加したりできるよう工夫した。

(効果)

- ・教員のICT活用技術が飛躍的に向上した（特に50代以上の教員）。
- ・接続不良などでストレスを感じる生徒もいたが、一方で「自分だけに先生が授業をしてくれている」と感じられ、1対1での授業形態が良いという意見も多かった。
- ・学校再開後に生徒の課題を確認すると、配信内容がしっかりとメモしてあるなど、オンライン授業に積極的に取り組んでいたことが分かり、スムーズに対面授業に移行できた。
- ・接続不良や、家庭の通信環境の違いなど困難も多かったが、休業期間中も生徒とつながり、学びを継続できたことは、とても大きな成果であった。

【回答】 オンラインでの実習や生き物を扱う授業の場合、どのように対処していたかについて

- ・農業の実習はその年に1回しかできないものが多く、春先からの休業で生徒の学習機会がたくさん奪われ、農業科教員は皆悩んでいた。そのような中で行ったいくつかの取組を紹介します。
- ①教員が作業をしているところを動画撮影し、編集し、実習の授業で活用した。
- ②小さな生き物や植物は、実物を配信会場に持ち込み、書画カメラ（実物投影機）を使って説明した。
- ③配信授業において、学校の写真を提示し、農場の様子について、機会ごとに説明を行った。

【回答】 授業中の迷惑行為等に対するルールについて

- ・教室に掲示してある「授業5箇条」を再度確認し、お互いに学ぶ権利を侵害しないように注意喚起していく。また、毎月実施の「心のアンケート」結果から、授業中の他者の行為が迷惑になっていないか、確認する。

○生徒指導部の取り組みについて

【意見】

- ・コロナ感染により、生徒や教員にはストレスや負担があると思う。改善方策にもあるとおり、声かけが大切であると思う。
- ・生徒会やMSリーダーズの活動評価が低い部分については、後期の改善方策を具体的に示す必要があると思う。

【回答】

- ・休業期間が長く続いたため、活動する時間が減少し、校外での活動が制限されたため、例年のような活動を行うことができなかった。状況が改善すれば、例年のようなMSリーダーズ活動を積極的に行っていきたい。

○進路指導部の取組について

- ・例年に比べて求人数が減少している中、進学する生徒も多いと思う。安易な選択は良くないが、総合型選抜入試（AO入試）は大学等受験の1つの選択肢として理解してほしい。

- ・各種学習会が実施できなかつたそうだが、就職希望者の内定状況には大きな影響はなかつたのか。

【回答】

- ・就職試験は1カ月延期され、10月16日から始まった。選考結果については順次連絡がきている。
- ・就職に関わる学習会はSPI試験対策ですが、希望者は昨年度に問題集を購入しているため、各自で取り組み、質問があれば来るように伝えた。複数名の生徒が質問に来たので対応したが、例年と比べて十分であるとは言えない。

○特別活動部の取り組みについて

【意見】

- ・今やれることを1つ1つ丁寧にやるしかない。安全を最優先に対応することは当然である。

○その他の分掌の取組について

【意見】

- ・各学科の実習や校外活動がコロナ感染症のために制限されてしまったことは残念だが、そのような中でもできることを前向きに取り組んでいると思う。
- ・全体として数値目標が設定できるとよいと思う。

【回答】

- ・達成率、学校評価の数値、生徒の満足度等、数値で客観的に評価が出来るようにしていきたい。

5 会議のまとめ

第2回の学校運営協議会についても、検討の結果、書面開催とした。年度当初の重点目標と具体的方策が思い描いたように実践できない中で、試行錯誤のオンライン授業（学習支援）などの取組について、励ましとも受け取れるご意見やご指摘など、学校に対して多くの前向きな意見を寄せてもらうことができました。今後も学校運営協議会委員の皆様はもとより、地域住民の声に真摯に耳をかたむけ、頂いた意見をもとに学校改善に努めていきたい。

なお、第3回の学校運営協議会は2月に予定しており、ICTを活用したオンライン課題研究発表を視聴していただく予定である。